

令和3年度学校評価アンケートのまとめ

野田市立岩木小学校

【アンケートの集計】

		保護者(%)		児童%			
		昨年度	今年度	昨年度	今年度		
1	家庭や地域で明るくあいさつをしている。	87	88	90	86.6		
2	学校に行くことを楽しみにしている。	87	87	86	84.9		
3	予習復習や宿題など、家庭学習をよくしている。	73	73	88	82		
4	わかりやすい授業を行っている。	73	73	84	84		
5	運動や体力の向上に努めている。	89	89	86	79		
6	相談しやすい雰囲気がある。	84	84	93	91.8		
7	いじめのない学級作り、学校作りに取り組んでいる。	89.5	90	90	88.7		
8	安全、事故防止、防犯に配慮している。	92	92.4	96	94.9		
9	教育方針や必要な情報を保護者に発信している。	94	94.4	/	/		
10	地域や保護者の考えをよく理解し、教育活動を進めている。	91	91				
11	家で読書をしている。	/	/			89	59.2
12	毎日朝食を食べている。					94	92.7
13	いつも一生懸命そうじをしている。			93	90.8		
14	友達と仲良く過ごしている。			97	95.3		

【アンケートについての考察】

- (1) 児童の評価がどの項目においても昨年度と比べて下がっている。感染対策をとしての学校生活は、児童にとって満足感や達成感を十分味わうことができないこともあったとも考えられる。その中でも、保護者の皆様や地域の方々の協力により、学校、子どもたちを支えていただき、落ち着いて教育活動ができた。今後、児童の活動の場を広げ、交流活動や体験活動により、児童の学習意欲ややりぬく力をさらに伸ばしていきたい。
- (2) 児童のアンケートから、運動や体力向上に向けた取り組みに課題があることがわかる。昼休みの校庭使用学年の制限、マスク着用での運動、呼気の激しい運動を控えるなども、大きく影響していると考えられる。制限がある中でも児童の体力向上に向けた手立てや工夫に学校全体で取り組んでいく必要がある。
- (3) 読書については、「家で読書している」という児童は昨年度よりも少ない。今年度、学校図書室から、およそ半数の児童が20冊以上借りている。本のはらっぱ、図書ボランティア、お昼の読み聞かせなどの継続的なボランティア支援が大きく、読書に親しむ環境がある。児童自らが、自身の読書生活を振り返ったり、広げたりできるよう、主体的な読書活動をさらに推進していきたい。
- (4) 昨年度と同様に、「いじめのない学級、学校づくり」「学校が楽しい」「友達と仲良く」については、多くの児童が達成している。常に「いじめはどの子どもにも、どの学校、どの学級にも起こりうる」との意識を持ち、相談しやすい学校、心豊かで安全・安心な学校づくりに今後も職員一丸となって取り組む。※裏面に続きます
- (5) 保護者アンケートでは、昨年度と大きな変化はなかった。「わかる授業」「家庭学習の取り組み」については、さらなる改善が必要と考える。今後も、学校全体で「わかる授業」のための授業改善に向け、職員研修や校内研究の充実を図っていく。  
今年度も、授業参観・学級懇談会など、保護者の来校機会を多くもてなかった。授業や活動の様子を保護者の皆様に伝えたり、意見をいただいたりする機会を増やす工夫を講じていきたい。